授業づくり研修講座　実践レポート

座間市立南中学校　　氏名　矢田　千恵

単元名　　中学校　第１学年　国語　　情報を読み解く「食感のオノマトペ」

実践のポイント（工夫）

・長い文章を書くことよりも、相手に伝えることを考えた文章を書くことに重きを置いた。

・段階を踏んで難易度を上げることで、論理的な文章を書く力の基礎を培うことを目指した。

実践内容

＜生徒について＞

　作文を書くことには抵抗が少なく、短い時間で取り組むことができるが、誤字脱字が多く、深く考えることが苦手であるような印象を受けた。そのため、長い文章を作成する土台として、短い文をしっかりと練って書かせることを課題とした。

＜教材について＞

「食感のオノマトペ」は、ものを食べた時の感覚をオノマトペによって伝えることをテーマにした説明文で、人間の微妙な感覚を実感を持って伝えることができ、個人や世代による食の好みを知る有力な手がかりにもなる、と述べられている。

＜実践内容について＞

授業の導入部分で、オノマトペの効果を実感するために、オノマトペに関するクイズを行った。[レベル１]・[レベル２]については、クイズに回答したあと、なぜその答えを選んだのか、ということを説明してもらった。[レベル３]については、班ごとに異なるオノマトペを封筒に入れて渡し、まず自分でそのオノマトペを説明する文を考えたあと、班で意見を交換し全体で発表してもらった。その後、その説明をもとにオノマトペを当てる、という活動を行った。

振り返り（成果や課題）

＜成果＞

・普段は意識せずに使っているオノマトペでも、それぞれ感覚が異なる部分があり、見つめ直すことで発見があったようだった。例えば、「ごくごく」「がぶがぶ」はそれぞれどこから出ている音か、あっさりした食べ物・さっぱりした食べ物の違いなどを改めて考えることで、言葉を正確に使うことを意識させることができたと感じた。

・また、「ぷりぷり」を「弾力」という言葉で表現し、「とろとろ」に粘り気、という言葉を当てはめるなど、説明するのにぴったり合う言葉を探すために、色々な角度からオノマトペを捉え、試行錯誤していたようだった。その結果として、わかりやすい説明を書いた生徒には素直な驚嘆の声が上がり、自分の文と比較しながらより伝わりやすい文を作ろうと熱心に話し合っていた。

＜課題＞

・「ねとねと」は普段使ったことがない、という生徒がほとんどで、オノマトペによって班ごとの取り組みに差ができてしまった。

・長い文章を書くときに今回の実践を活かせるよう、間を置かず作文を書く取り組みができると良かった。

食感のオノマトペ（回答例）

[レベル１]　どちらのオノマトペがふさわしいか考えてみよう

1. 姉が、冷たい麦茶を（がぶがぶ・ごくごく）とおいしそうに飲んだ。

＊どちらも液体を音を立てて勢いよく飲む様子。

　　　ごくごく…リズミカル、おいしそう、健康的。喉をならす音。

　　　がぶがぶ…口を大きく開閉させて飲む音。余裕がなく品がない。

1. 日本ではそばを（ずるずる・つるつる）音を立てて食べるのが良いといわれてきた。

　ずるずる…なめらかでない。摩擦音。焼きそば、とろろそば。引きずる

　つるつる…なめらか。うどん、素麺、ゼリー。

1. この店のしょうゆラーメンは（あっさり・さっぱり）していておいしい

あっさり…淡白な味そのものを表す

さっぱり…食べた後の気分もさわやか。さわやかのさ。清涼感。ミント・酢

[レベル２]　どんなオノマトペを表現しているか考えてみよう

1. 炭酸飲料のふたを開けたときの気泡の音からの連想で、　　→　しゅわしゅわ
2. 物が粒や小さなかけらになって、次々に落ちる様子。また、　→　ぽろぽろ
3. やや固めの野菜や果物をかんだときの、心地よい食感や歯切れの音の様子。

また、ものごとをてぎわよく行う様子。　　　　　　　　　　　　　　→しゃきしゃき

[レベル３]　自分でオノマトペを説明してみよう

　　　　使用例を１つだけ挙げて良い。自分で書いててみたあと、班内で見せ合い、

良い表現は取り入れる。実際に説明が伝わるかどうか試してみる。

ぷりぷり　押すと震えるほど弾力があるさま。しまって弾力のあるさま。

腹を立てて機嫌の悪いさま。

もちもち　食べ物が柔らかく、粘り気のあるさま。肉付きがゆたかなさま。肌がふっくらとして張りがあるさま。

とろとろ　固形物が溶けて柔らかくなるさま。液体がやや粘り気を持つさま。勢いが弱いさま。ゆっくり静かに進むさま。眠気を催すさま。

ふわふわ　　柔らかくてふくらんでいるさま。心が落ち着かないで浮ついているさま。軽いものが揺れ動いたり漂ったりするさま。

ほくほく　焼いたりふかしたりしたものの、水分が少なくて、口当たりがよさそう。あたたかくてやわらかいさま。うれしさを隠し切れないさま。

ねとねと　粘り気があるさま。からみつく様子。

食感のオノマトペ

[レベル１]　どちらのオノマトペがふさわしいか考えてみよう

①姉が、冷たい麦茶を（がぶがぶ・ごくごく）とおいしそうに飲んだ。

②そばは（ずるずる・つるつる）音を立てて食べるのが良い。

③この店のしょうゆラーメンは（あっさり・さっぱり）していておいしい

[レベル２]　どんなオノマトペを表現しているか考えてみよう

①炭酸飲料のふたを開けたときの気泡の音からの連想

で、炭酸水がのど元に与えるかんじ。

②物が粒や小さなかけらになって、次々に落ちる様子。

また、大粒の涙がこぼれる様子。

③やや固めの野菜や果物をかんだときの、心地よい

食感や歯切れの音の様子。

また、ものごとをてぎわよく行う様子。

[レベル３]　自分でオノマトペを説明してみよう

班内で意見交換をしたときに、良い表現があれば赤ペンで書き足そう